

進化した帯電防止発泡製品

世界初!!

# ピーブロックエース

ピーブロックと  
同等の物性を維持

帯電防止剤が製品に  
移行しません。

低湿度時の性能が  
低下しません。

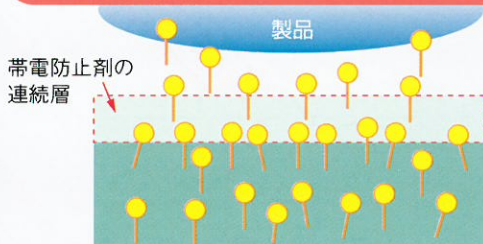
水で洗淨しても性能が  
変化しません。

発泡ビーズの表面に持続性帯電防止樹脂を特殊な技術でコーティング。高価な帯電防止樹脂の使用を極力おさえました。

ピーブロックエースは、低湿度下においても静電気を抑制し続けます。

▶従来の帯電防止品

従来タイプでは表面の帯電防止剤が移行することがある

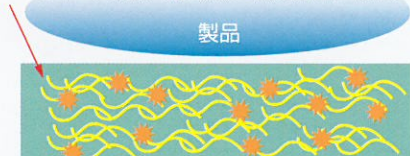


一般的な練り込み型帯電防止剤による導電機構のイメージ

▶ピーブロックエース

ピーブロックエースの構造では帯電防止剤の移行がない

独自のコーティング技術で帯電防止剤を強固に固定



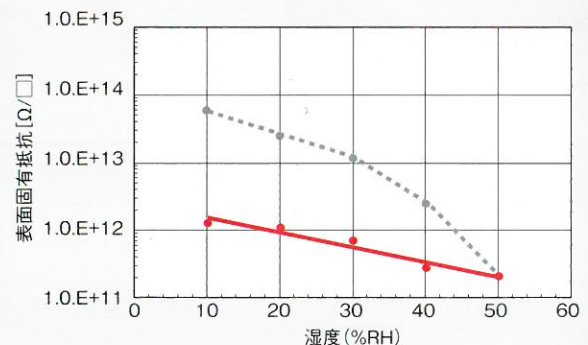
持続性帯電防止剤による導電機構のイメージ

従来の練り込み型帯電防止剤は、その機能を発揮するため大気中の水分を利用しています。

従来品は湿度が必要

ピーブロックエースは、持続性帯電防止剤を使用することで低湿度下においても性能を発揮します。

低湿度でも性能を発揮



表面固有抵抗値は湿度の影響を受けがたい傾向です。

● 一般帯防グレード  
● ピーブロックエース45倍

上記の数値は測定値であり、保証値ではありません。

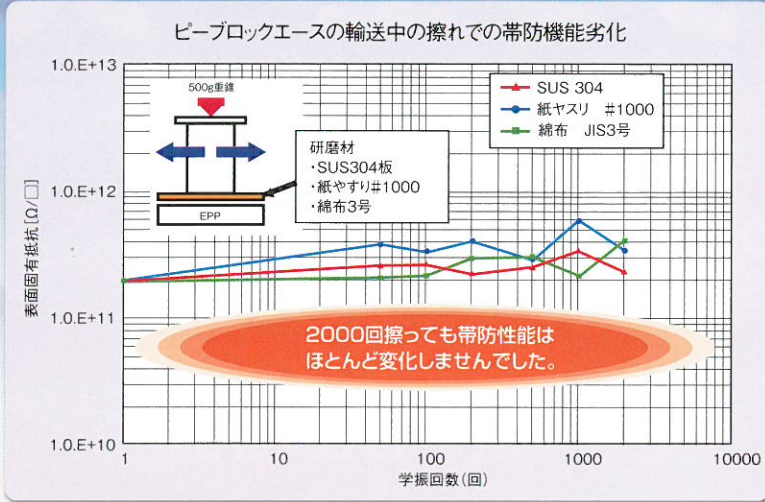
ピーブロックは、高い緩衝性、帯電防止機能で製品をしっかりと守ります。  
しかも低コストを実現。優れたリサイクル性も兼ね備えた、  
まさに次世代の発泡緩衝材です。



物性と収縮率がピーブロックとほぼ同等なので  
多くの場合は既存の型を使用することが可能です。

▶ 輸送時でも安心です。

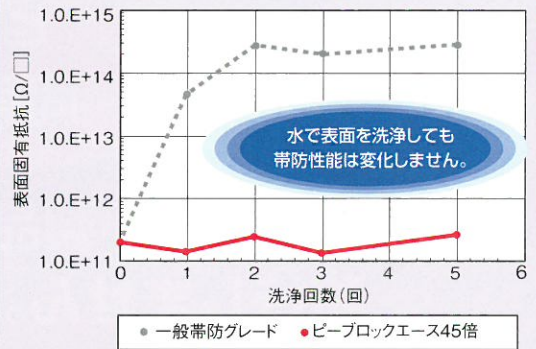
コーティングといっても一個ずつのピースに強固に接着させているので、常識的な範囲では簡単に剥がれることはありません。



洗浄後の帯電防止性能

測定方法

- ① サンプル表面を水道の流水下でガーゼを擦りながら水洗
- ② 70℃のドライオープンで2時間乾燥
- ③ 23℃、50%RHの雰囲気中で24時間養生後に同環境下で表面固有抵抗率を測定
- ④ ①～③の繰返し



▶ 金属腐食の心配ありません。

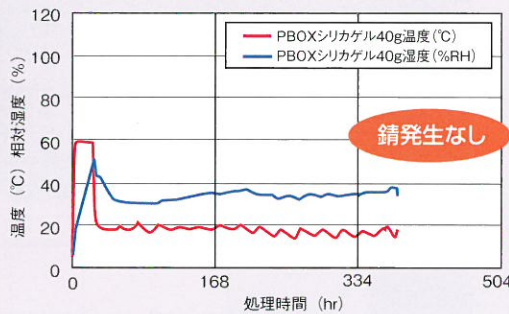
ピーブロックに使用した持続性帯防剤は吟味して選定していますので、基本的に帯防剤の影響で発錆することはありません。

▶ リサイクル性に優れています。

ピーブロック同様にリユース、リサイクルに適合する性能があります。特に、マテリアルリサイクルに関しても、PPとして回収可能です。

ピーブロックの輸送想定試験 持続性帯防剤に含まれる金属への影響

- ピーブロックの外箱にピーブロックの内箱を入れて金属を立てかける。
- 試験金属板はSS400 (一般構造用圧延鋼)、5052A (アルミ)、SUS304 (ステンレス鋼)、C110P (銅)、C2801P (真鍮)の5種。金属は予めプラスト処理。
- 窒素置換後、フタを閉める。外箱のみ密閉する。
- 60℃×80%HD環境に投入。
- 内部環境変化を温湿度計で確認並びに前後の金属表面外観をチェック。

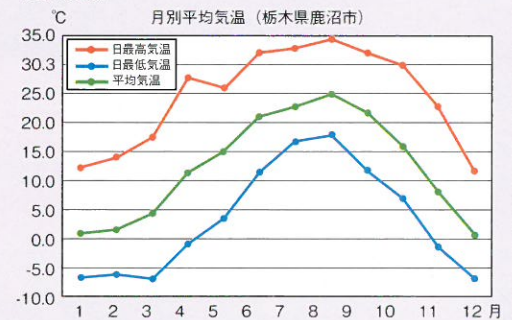


- サンプル  
① P-BOXの中に帯防BOX  
シリカゲル40g
- 条件  
60℃×80%HD×1日  
一室温放置×2週間
- 結果  
金属面への発錆を認めず。

発泡倍率	45倍
------	-----

ピーブロックの長中期保管試験

- 輸送想定試験に使用したボックスの蓋をずらし、ボックス内部の大気が外気と循環可能な状態とし、弊社倉庫内に放置しました。



確認日	2008/9月1日	10月6日	11月4日	12月1日	2009/1月5日	2月2日
発錆	確認せず	確認せず	確認せず	確認せず	確認せず	確認せず

- 結果  
約半年間の保管試験では、金属表面の発錆は確認できていません。

上記の数値は測定値であり、保証値ではありません。

◇ 使用上の注意 ◇ この製品は直接火気に接触すると燃焼します。ご使用に際しては火気に十分注意してください。

株式会社 JSP 第二事業本部 高機能材事業部

ホームページ <http://www.co-jsp.co.jp>

機能材部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL.03-6212-6356 FAX.03-6212-6357  
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル) TEL.011-231-2681(代) FAX.011-231-7850  
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル) TEL.052-962-3225(代) FAX.052-962-3252  
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご塚筋本町ビル) TEL.06-6264-7908(代) FAX.06-6264-7915  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル) TEL.092-411-6854(代) FAX.092-474-1796  
鹿沼第二工場 〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町5 TEL.0289-76-3271(代) FAX.0289-76-2737  
四日市第二工場 〒510-0955 三重県四日市市北小松町字扇廣1600 TEL.059-328-2563(代) FAX.059-328-2663

御用命は下記特約店まで